

第56回
カルロヴィ・ヴァリ国際映画祭
クリスタル・グローブ・コンペティション部門

第23回
東京フィルメックス
コンペティション部門 観客賞受賞

第44回
カイロ国際映画祭
インターナショナル・パノラマ部門

第53回
インド国際映画祭
シネマ・オブ・ザ・ワールド部門

ヨハネスブルグ
映画祭

遠いところ

A Far Shore

花瀬 琴音

石田夢実 佐久間祥朗 長谷川月起 / 松岡依都美

小倉綾乃 NENE 奥平紫乃

高橋雄祐 カトウシンスケ 中島 歩 岩谷健司 岩永洋昭 米本学仁 浜田信也 尚玄 上地春奈 きゃんひとみ
早織 宇野祥平 池田成志 吉田妙子

監督・脚本: 工藤 将亮

主題歌: "Thanks"
Performed by 唯奇

映画、ではなく現実

次の世代に残してはいけない問題がここにある――

若くして母となった少女が、連鎖する貧困や暴力に抗おうともがく日々の中でたどり着いた未来とは。

©2022「遠いところ」フィルムパートナーズ

どうしたら 未来は変わりますか——

沖縄県・コザ。

17歳のアオイは、夫のマサヤと幼い息子の健吾(ケンゴ)と3人で暮らし。
おばあに健吾を預け、生活のため友達の海音(ミオ)と
朝までキャバクラで働くアオイだったが、夫のマサヤは仕事を探そうともせず、
いつしかアオイへ暴力を振るうようになっていた。
そんな中、店にガサ入れが入り、アオイは働けなくなる。
さらに姿を消していたマサヤが暴力事件を起こし逮捕されたと連絡が入り、
多額の被害者への示談金が必要になる。
切羽詰まったアオイの前にある誘いが——。

監督は、デビュー作「アイムクレイジー」、「未曾有」(本年公開予定)と、
テーマへの着実なアプローチで世界中の映画祭から注目される工藤将亮。
いま、最も目が離せない映画作家である。

エグゼクティブプロデューサー:古賀俊輔 プロデューサー:キタガワユウキ アソシエイトプロデューサー:仲宗根久乃
キャスティング:五藤一泰 撮影:杉村高之 照明:野村直樹 サウンドデザイン:本原広滋 伊藤裕規 音楽:茂野雅道 美術:小林 蘭 共同脚本:鈴木菜美
特機:菊地永純 ヘアメイクデザイン:倉田明美 特殊メイク・特殊刺青:下畑和秀 スタイリスト:浜辺みさき 助監督:藤原達昭 編集:陳 詩婷 工藤将亮
配給統括:増田英明 宣伝プロデューサー:平下敦子 沖縄宣伝:玉城厚三
協賛:美桜組 総合葬祭那覇 オールステイ OKINAWA CITY HOTEL ヒヤグン・ラナイ・リゾート ベストウェスタン沖縄恩納ビーチ マハロレンタカー那覇 HVLレンタルズ NIKITA
一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー 一般社団法人沖縄市観光物産振興協会 公益財団法人 沖縄県文化振興会 沖縄タイムス社 琉球新報社 琉球放送
製作:Allen ザファール 企画・制作プロダクション:Allen 制作協力:ザファール
ワールドセールス:Alpha Violet
宣伝:漢墨 国内配給:ラビットハウス
2022年/日本/カラー/ヨーロピアンビスタ/5.1ch/128分



公式サイトURL
<http://afarshore.jp/>
@afarshore_jp

アオイは尊厳を持って生きる
強い女性である
—— Quinlan

詩情と叙情に溢れた情熱的な傑作
—— Filmuforia

巨匠ケン・ローチに対する
日本のアンサーのようだ
—— Ray Magazine

苦味の一方で優しさがあり、
暗闇の中にも暖かさを表す、
絶妙な視点
—— Le Polyester

避けては通れない衝撃が
無限に込められ、
観るべき一作
—— Jeremy C Processing

貧困にあえぐ日本の性差別を、
痛烈に告発する。
溝口健二的な現代悲劇。
—— Variety



桜美林大学リベラルアーツ学群映画上映会

2025年11月14日 (金) 町田キャンパス以德館1階CT101試写室

15:00-17:20 「遠いところ」 上映 (128分)

17:30-18:30 工藤将亮監督アフタートーク

※入場無料・予約不要です。
※会場内は土足厳禁・飲食禁止です。
※14:30開場です。
問い合わせ先: リベラルアーツ学群 岡田万里子 mokada@obirin.ac.jp

